



## 2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年11月1日

上場会社名 株式会社 ニックトー

上場取引所 東

コード番号 5367 URL <https://www.nikkato.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大西 宏司

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長 (氏名) 濱田 悦男

TEL 072-238-3641

四半期報告書提出予定日 2021年11月11日

配当支払開始予定日

2021年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2022年3月期第2四半期の業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	4,828	16.7	547	326.6	572	191.9	394	195.5
2021年3月期第2四半期	4,137	△17.5	128	△74.8	196	△64.9	133	△64.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	33.01	—
2021年3月期第2四半期	11.17	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	15,959	11,726	73.5	982.42
2021年3月期	15,930	11,430	71.8	957.64

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 11,726百万円 2021年3月期 11,430百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	3.00	—	5.00	8.00
2022年3月期	—	8.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2022年3月期の業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,500	9.8	900	147.9	920	109.2	630	129.4	52.78

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期2Q	12,135,695 株	2021年3月期	12,135,695 株
2022年3月期2Q	200,238 株	2021年3月期	200,119 株
2022年3月期2Q	11,935,529 株	2021年3月期2Q	11,935,677 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間において、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、引続き事業活動は一定の制約がある中、当社主力電子部品業界の市場環境がコロナ禍の経験踏まえ、不確実性が高まる中、自動車市場の部品在庫の積み増し及び5G等々の関連機器向けの需要増加により、当社業績は順調に推移いたしました。

このような状況の中、当社セラミックス事業の売上高は前年同期比16.2%増収の3,754,879千円となりました。市場別構成比率では、電子部品向け53.6%、化学・窯業向け15.7%、環境・エネルギー向け3.9%となりました。一方エンジニアリング事業につきましても同様に前年同期比18.4%増収の1,072,776千円となりました。市場別構成比率は電子部品向け29.8%、自動車・重機向け23.3%、環境・エネルギー向け13.8%となりました。結果、当第2四半期の売上高合計は、前年同期比16.7%増収の4,827,655千円となりました。

損益面につきましては、セラミックス事業は増収に伴い工場稼働率が大幅に向上したことによりセグメント利益は前年同期比291.2%増益の516,335千円となりました。エンジニアリング事業も増収効果に加え前事業年度より組織改編等による固定費削減に取組んだ効果も加わりセグメント利益は30,219千円(前年同期は3,876千円の損失)となりました。この結果、営業利益は前年同期比326.6%増益の546,554千円となり、経常利益は前年同期比191.9%増益の571,621千円、四半期純利益も195.5%増益の394,047千円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期の財政状態については、総資産が前期末比0.2%増の15,958,867千円となりました。内訳としては流動資産が前期末比3.0%増の8,677,519千円、固定資産が前期末比3.0%減の7,281,347千円となりました。流動資産の主な増加要因は、増収による売上債権の増加であります。固定資産の主な減少要因は、有形固定資産の減価償却によるものであります。

一方負債は、前期末比5.9%減の4,233,260千円となりました。内訳としては流動負債が前期末比2.2%減の3,041,098千円、固定負債が前期末比14.3%減の1,192,161千円となりました。流動負債の主な減少要因としては営業外電子記録債務の減少であり、固定負債の主な減少要因としては長期借入金の返済によるものであります。

また、純資産が前期末比2.6%増の11,725,606千円となりました。内訳としては株主資本が前期末比3.1%増の11,076,449千円となり、主に利益剰余金が前期末比4.0%増の8,617,935千円であり、これは繰越利益剰余金の増加によるものであります。また、評価・換算差額等が前期末比5.6%減の649,157千円となり、これは投資有価証券の時価の下落によりその他有価証券評価差額金が減少したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、引続き新型コロナウイルス感染症の収束時期が未だ見えないものの、先の緊急事態宣言等の全面解除により事業活動の制約も徐々に解除され、当社の主力販売先の電子部品業界の市場環境は自動車市場の半導体の不足に伴う影響はもうしばらく続くものと思われませんが、5G及びその関連機器の需要は総じて順調に推移していくものと考えており、当社業績につきましても順調に推移するものと予測しております。また、「withコロナ」に従業員の健康と安全を第一に感染対策を講じた上で推し進め、働き方や営業活動等々を見直し、生産効率の改善と生産性の向上に努めてまいります。

(注) 本資料に掲載している業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,676,471	2,746,420
受取手形、売掛金及び契約資産	2,955,751	3,232,429
商品及び製品	1,306,707	1,231,914
仕掛品	1,111,677	1,094,915
原材料及び貯蔵品	338,888	347,893
その他	34,762	23,948
流動資産合計	8,424,258	8,677,519
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,510,991	2,429,115
機械及び装置(純額)	1,491,656	1,372,883
その他(純額)	1,243,485	1,252,963
有形固定資産合計	5,246,133	5,054,962
無形固定資産		
	151,902	196,506
投資その他の資産		
投資有価証券	1,960,768	1,904,799
その他	147,138	125,079
投資その他の資産合計	2,107,907	2,029,878
固定資産合計	7,505,943	7,281,347
資産合計	15,930,202	15,958,867
<b>負債の部</b>		
流動負債		
電子記録債務	339,932	281,403
買掛金	1,078,143	1,185,351
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	248,392	248,392
営業外電子記録債務	253,360	59,322
未払金	311,215	304,569
賞与引当金	218,200	263,800
役員賞与引当金	12,091	6,045
その他	247,347	292,214
流動負債合計	3,108,682	3,041,098
固定負債		
長期借入金	1,004,520	880,324
役員退職慰労引当金	177,619	89,667
資産除去債務	42,573	42,812
繰延税金負債	96,145	109,412
その他	70,695	69,945
固定負債合計	1,391,553	1,192,161
負債合計	4,500,236	4,233,260

(単位:千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,320,740	1,320,740
資本剰余金	1,225,438	1,225,438
利益剰余金	8,283,565	8,617,935
自己株式	△87,585	△87,665
株主資本合計	10,742,159	11,076,449
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	687,806	649,157
評価・換算差額等合計	687,806	649,157
純資産合計	11,429,965	11,725,606
負債純資産合計	15,930,202	15,958,867

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	4,137,246	4,827,655
売上原価	3,358,099	3,633,447
売上総利益	779,146	1,194,208
販売費及び一般管理費	651,036	647,654
営業利益	128,110	546,554
営業外収益		
受取利息	1,198	626
受取配当金	23,219	26,548
雇用調整助成金	37,071	-
その他	19,495	8,401
営業外収益合計	80,986	35,576
営業外費用		
支払利息	5,645	4,917
コミットメントフィー	5,656	4,899
その他	1,951	692
営業外費用合計	13,253	10,509
経常利益	195,843	571,621
特別損失		
固定資産廃棄損	738	248
特別損失合計	738	248
税引前四半期純利益	195,104	571,372
法人税、住民税及び事業税	76,000	147,000
法人税等調整額	△14,250	30,324
法人税等合計	61,749	177,324
四半期純利益	133,355	394,047

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	195,104	571,372
減価償却費	324,612	331,871
受取利息及び受取配当金	△24,418	△27,175
支払利息	5,645	4,917
投資有価証券売却損益(△は益)	△2,659	△1,172
前払年金費用の増減額(△は増加)	△20,926	4,439
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,916	△87,951
雇用調整助成金	△37,071	-
固定資産廃棄損	738	248
製品補償引当金の増減額(△は減少)	△10,921	-
売上債権の増減額(△は増加)	227,282	△276,677
棚卸資産の増減額(△は増加)	△10,191	82,550
その他の資産の増減額(△は増加)	△149,688	1,362
仕入債務の増減額(△は減少)	20,193	48,678
未払消費税等の増減額(△は減少)	145,129	△14,045
その他の負債の増減額(△は減少)	△22,935	31,541
小計	646,808	669,958
利息及び配当金の受取額	24,418	27,175
利息の支払額	△5,938	△4,511
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	650	△81,403
雇用調整助成金の受取額	37,071	-
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>703,011</b>	<b>611,219</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△358,128	△356,271
無形固定資産の取得による支出	△68,496	△28,499
投資有価証券の取得による支出	△1,248	△418
投資有価証券の売却による収入	9,972	1,853
投資有価証券の償還による収入	200,000	-
投資その他の資産の増減額(△は増加)	523	26,968
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△217,377</b>	<b>△356,366</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	100,000	-
長期借入金の返済による支出	△122,196	△124,196
自己株式の取得による支出	△19	△79
リース債務の返済による支出	△750	△750
配当金の支払額	△131,091	△59,878
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△154,057</b>	<b>△184,905</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	331,575	69,948
現金及び現金同等物の期首残高	2,410,596	2,676,471
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,742,172	2,746,420



(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下、「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、買戻し契約に該当する有償支給取引について、従来、有償支給時に売上高と売上原価を計上しておりましたが、加工代相当額のみを純額で収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しておりますが、当該期首残高に与える影響はありません。

また、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

なお、これによる当第2四半期累計期間の損益に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前事業年度の貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「売掛金」は、第1四半期会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。

なお、これによる四半期財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	セラミックス事業	エンジニアリング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	3,231,258	905,988	4,137,246	4,137,246
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	3,231,258	905,988	4,137,246	4,137,246
セグメント利益又は損失	131,986	△3,876	128,110	128,110

当第2四半期累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	セラミックス事業	エンジニアリング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	3,754,879	1,072,776	4,827,655	4,827,655
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	3,754,879	1,072,776	4,827,655	4,827,655
セグメント利益	516,335	30,219	546,554	546,554